生成AI時代の学校教育と教師～人間の果たすべき役割～

第2部「生成AIと学習：生成AIは学習をどう支援できるか」

令和8年8月6日

四万十町立窪川中学校　上岡　涼太

画像は四万十町HPより

協調学習

　建設的相互作用（他者と一緒に考えることで理解が進む）を通して，自分の考えを深める

①一人一人のわかり方は多様

②納得して自分で表現したことは「活用できる知識」になりやすい。

③納得するためには，何度も言い直す機会が必要

④視点の違う相手と対話することで適用範囲が広がる

協調学習を引き起こす手段の1つとして「知識構成型ジグソー法」

①「一人では十分な答えが出ない」課題に対し**個人思考**
②同じ資料を読み合うグループで考える
（**エキスパート活動**）
③エキスパート活動で考えた、違う知識を使って課題解決する（**ジグソー活動**）
④ジグソー活動で出た答えを他グループと交流する
（**クロストーク**）
⑤最後にもう一度**個人が自分の表現で答え**をつくる

教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

協調学習を引き起こす手段の1つとして

「知識構成型ジグソー法」

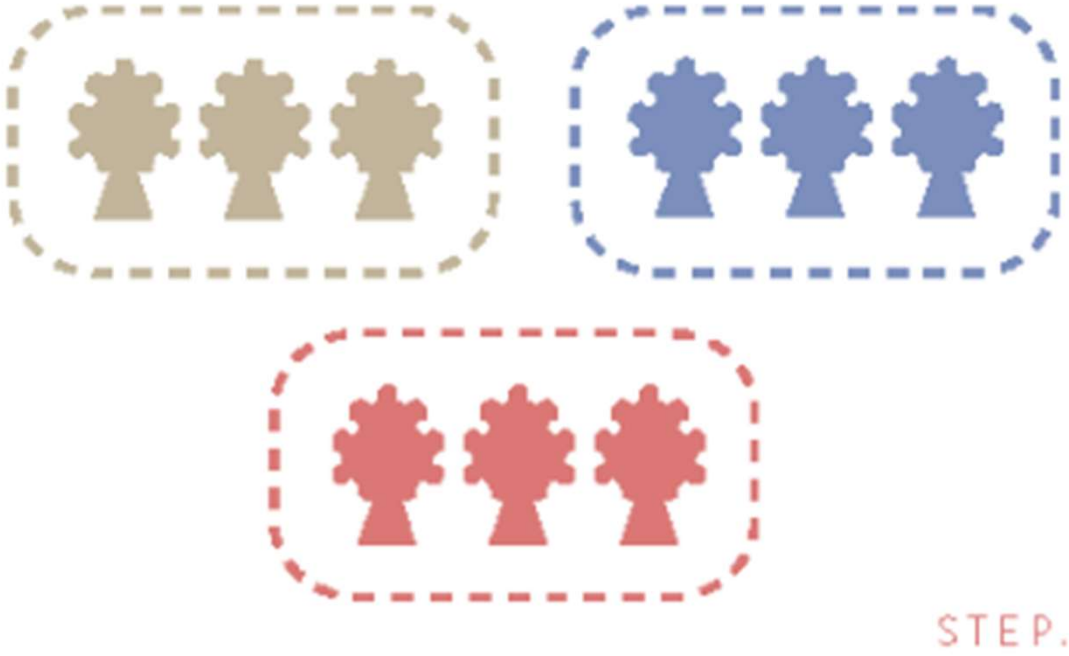
①「一人では十分な答えが出ない」本時の課題に対して、一人ひとりがまず、自力で考えてみる

画像は教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

協調学習を引き起こす手段の1つとして

「知識構成型ジグソー法」

②同じ資料を読み合うグループを作り
それぞれが違う視点から「言えること」をもつ
（**エキスパート活動**）

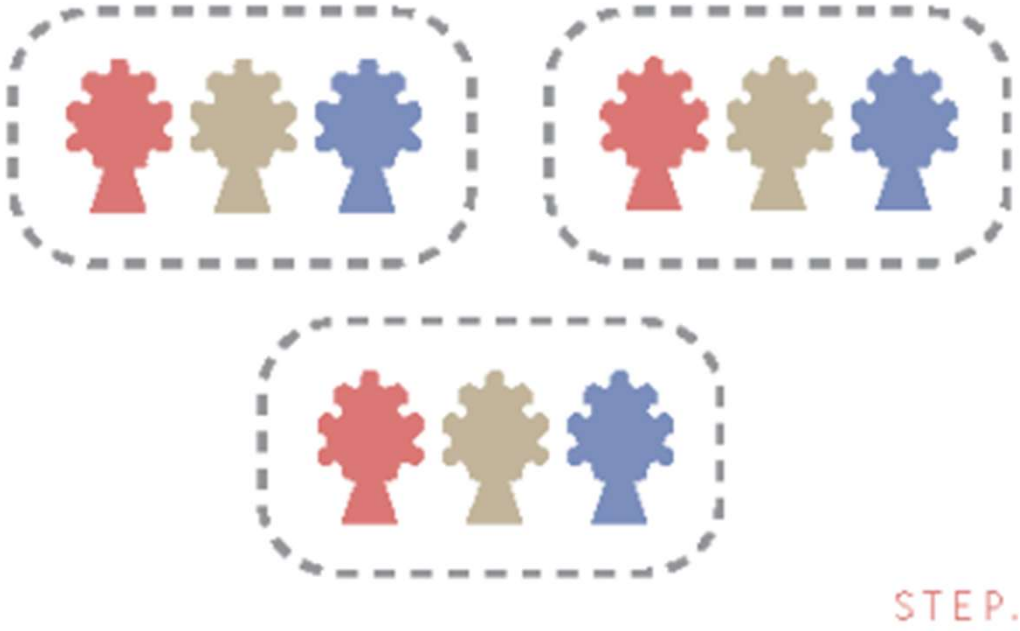


画像は教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

協調学習を引き起こす手段の1つとして

「知識構成型ジグソー法」

③エキスパート活動で考えた、それぞれが違う知識を使ったり、組み合わせたり、比べたりしながらよりよい考えをつくる（**ジグソー活動**）

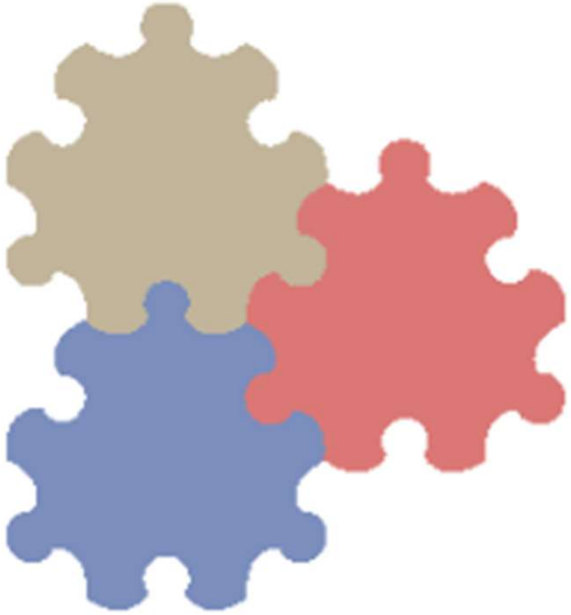


画像は教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

協調学習を引き起こす手段の1つとして

「知識構成型ジグソー法」

④いったん出た答えを他のグループと交流し、さらに理解を広げ、深めて、自分にとって納得する表現を吟味する（**クロストーク**）



画像は教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

協調学習を引き起こす手段の1つとして

「知識構成型ジグソー法」

⑤最後にもう一度個人が自分の表現で答えをつくる

STEP.5

画像は教育デザイン研究所CoREFより　https://ni-coref.or.jp/archives/5515

実践報告

公民的分野　地方自治

授業のねらい

地方自治のしくみについて学習した単元のまとめとして、**今まで学習した知識を活用して具体的な事例について考察、協議をする。**考察、協議を通して、自分たちの町づくりに自分たちが参加して町をよくしていくこと（住民参加）の大切さに気付くとともに、地方自治の発展の寄与しようとうする自治意識の基盤を育成するのが本単元のねらいである。

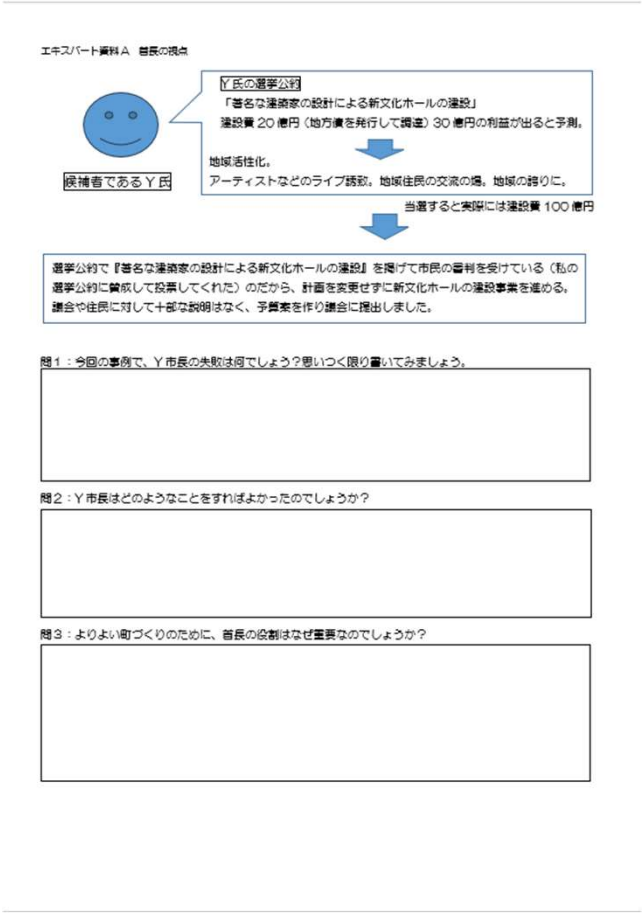
授業では、**市長と議会がうまく働かず、事業が失敗した事例**について扱う。私たちにとって政治参加の手段の１つとして選挙があるが、選挙に行って終わりではなく、日頃から自分たちの住む地域のことを考えて、地方の政治に参画することの必要性を理解してほしい。

首長・議会・住民の3つの視点に分かれ、失敗の原因と解決策を考えることでそれぞれが果たす役割について理解を深め、三者が協力して町づくりを行うことが地方自治において大切だという概念と、私たち住民の果たすべき役割についての考えを深めていきたい。

本実践については、『討議事例から考える「公共」の授業　中谷常二 (著) 』を参考に作成

課題

よりよい町づくりのために一番重要な役割を持つのは
「首長・議会・住民」のうちどこか？


エキスパート資料Ａ　首長の視点

候補者であるＹ氏

Ｙ氏の選挙公約
「著名な建築家の設計による新文化ホールの建設」
建設費 20 億円（地方債を発行して調達）30 億円の利益が出ると予測。
地域活性化。
アーティストなどのライブ誘致。地域住民の交流の場。地域の誇りに。

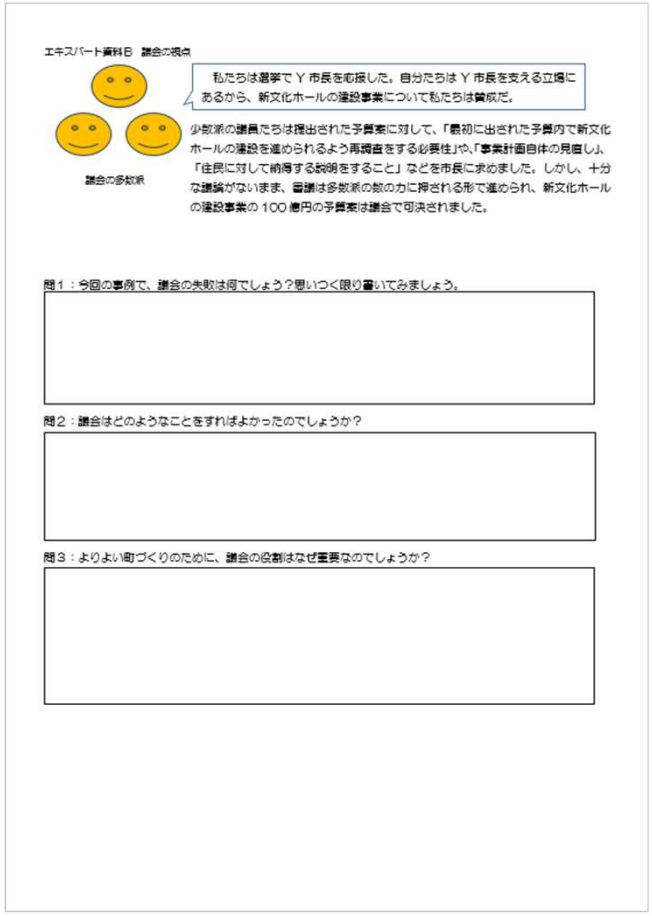
当選すると実際には建設費 100 億円

選挙公約で『著名な建築家の設計による新文化ホールの建設』を掲げて市民の審判を受けている（私の選挙公約に賛成して投票してくれた）のだから、計画を変更せずに新文化ホールの建設事業を進める。議会や住民に対して十部な説明はなく、予算案を作り議会に提出しました。

問１：今回の事例で、Ｙ市長の失敗は何でしょう？思いつく限り書いてみましょう。

問２：Ｙ市長はどのようなことをすればよかったのでしょうか？

問３：よりよい町づくりのために、首長の役割はなぜ重要なのでしょうか？


エキスパート資料Ｂ　議会の視点

議会の多数派

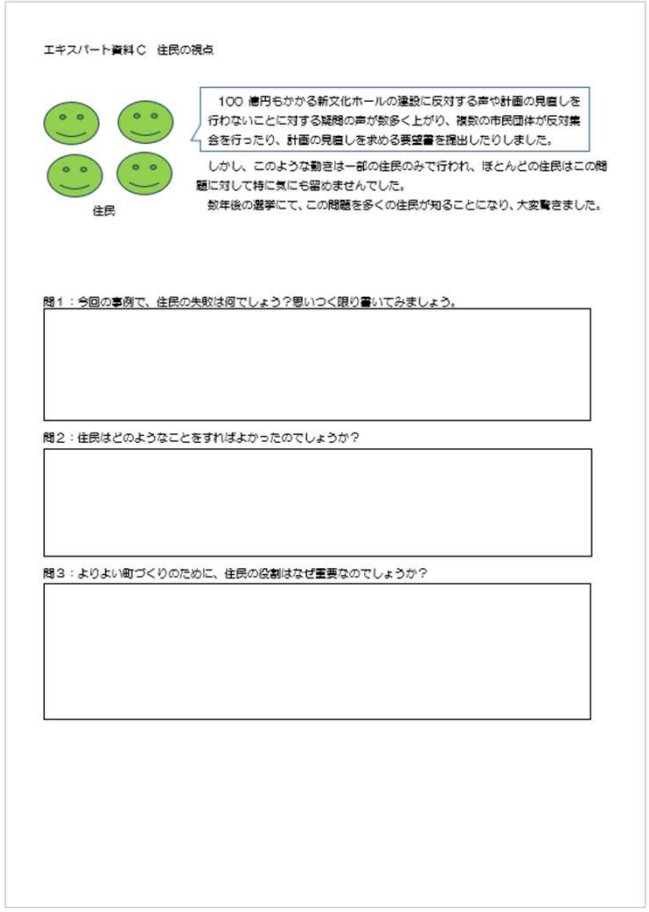
私たちは選挙で Ｙ 市長を応援した。自分たちは Ｙ 市長を支える立場にあるから、新文化ホールの建設事業について私たちは賛成だ。

少数派の議員たちは提出された予算案に対して、「最初に出された予算内で新文化ホールの建設を進められるよう再調査をする必要性」や、「事業計画自体の見直し」、「住民に対して納得する説明をすること」などを市長に求めました。しかし、十分な議論がないまま、審議は多数派の数の力に押される形で進められ、新文化ホールの建設事業の 100 億円の予算案は議会で可決されました。

問１：今回の事例で、議会の失敗は何でしょう？思いつく限り書いてみましょう。

問２：議会はどのようなことをすればよかったのでしょうか？

問３：よりよい町づくりのために、議会の役割はなぜ重要なのでしょうか？


エキスパート資料Ｃ　住民の視点

住民

100 億円もかかる新文化ホールの建設に反対する声や計画の見直しを行わないことに対する疑問の声が数多く上がり、複数の市民団体が反対集会を行ったり、計画の見直しを求める要望書を提出したりしました。

しかし、このような動きは一部の住民のみで行われ、ほとんどの住民はこの問題に対して特に気にも留めませんでした。

数年後の選挙にて、この問題を多くの住民が知ることになり、大変驚きました。

問１：今回の事例で、住民の失敗は何でしょう？思いつく限り書いてみましょう。

問２：住民はどのようなことをすればよかったのでしょうか？

問３：よりよい町づくりのために、住民の役割はなぜ重要なのでしょうか？

エキスパート資料

生徒の既有知識によって学習が左右されてしまい思ったより生徒はエキスパート活動でつまづく･･･

授業のねらい

地方自治のしくみについて学習した単元のまとめとして、**今まで学習した知識を活用して具体的な事例について考察、協議をする。**考察、協議を通して、自分たちの町づくりに自分たちが参加して町をよくしていくこと（住民参加）の大切さに気付くとともに、地方自治の発展の寄与しようとうする自治意識の基盤を育成するのが本単元のねらいである。

授業では、**市長と議会がうまく働かず、事業が失敗した事例**について扱う。私たちにとって政治参加の手段の１つとして選挙があるが、選挙に行って終わりではなく、日頃から自分たちの住む地域のことを考えて、地方の政治に参画することの必要性を理解してほしい。

首長・議会・住民の3つの視点に分かれ、失敗の原因と解決策を考えることでそれぞれが果たす役割について理解を深め、三者が協力して町づくりを行うことが地方自治において大切だという概念と、私たち住民の果たすべき役割についての考えを深めていきたい。

結果として、こちらのねらいに関して最後に記述している生徒は2名ほどしかいなかった。

生徒の既有知識によって学習が左右されてしまい
思ったより生徒はエキスパート活動でつまづく･･･

授業のねらい

地方自治のしくみについて学習した単元のまとめとして、**今まで学習した知識を活用して具体的な事例について考察、協議をする。**考察、協議を通して、自分たちの町づくりに自分たちが参加して町をよくしていくこと（住民参加）の大切さに気付くとともに、地方自治の発展の寄与しようとうする自治意識の基盤を育

生成AIを活用すれば
この課題を解決できるのでは？

それぞれが果たす役割について理解を深め、三者が協力して町づくりを行うことが地方自治において大切だという概念と、私たち住民の果たすべき役割についての考えを深めていきたい。

結果として、こちらのねらいに関して最後に記述している生徒は2名ほどしかいなかった。

AIで学ぶ、2つのパターン

A) 電卓のように答えを得るために使う

課題に対して答えを求めるためだけに使うと、電卓的になりがち
自分の考えを作る前にAIを使うと思考が流され、「わかったつもり」になることが多い

B)優秀で、繰り返し、しつこくてもOKな学びのパートナーとして使う

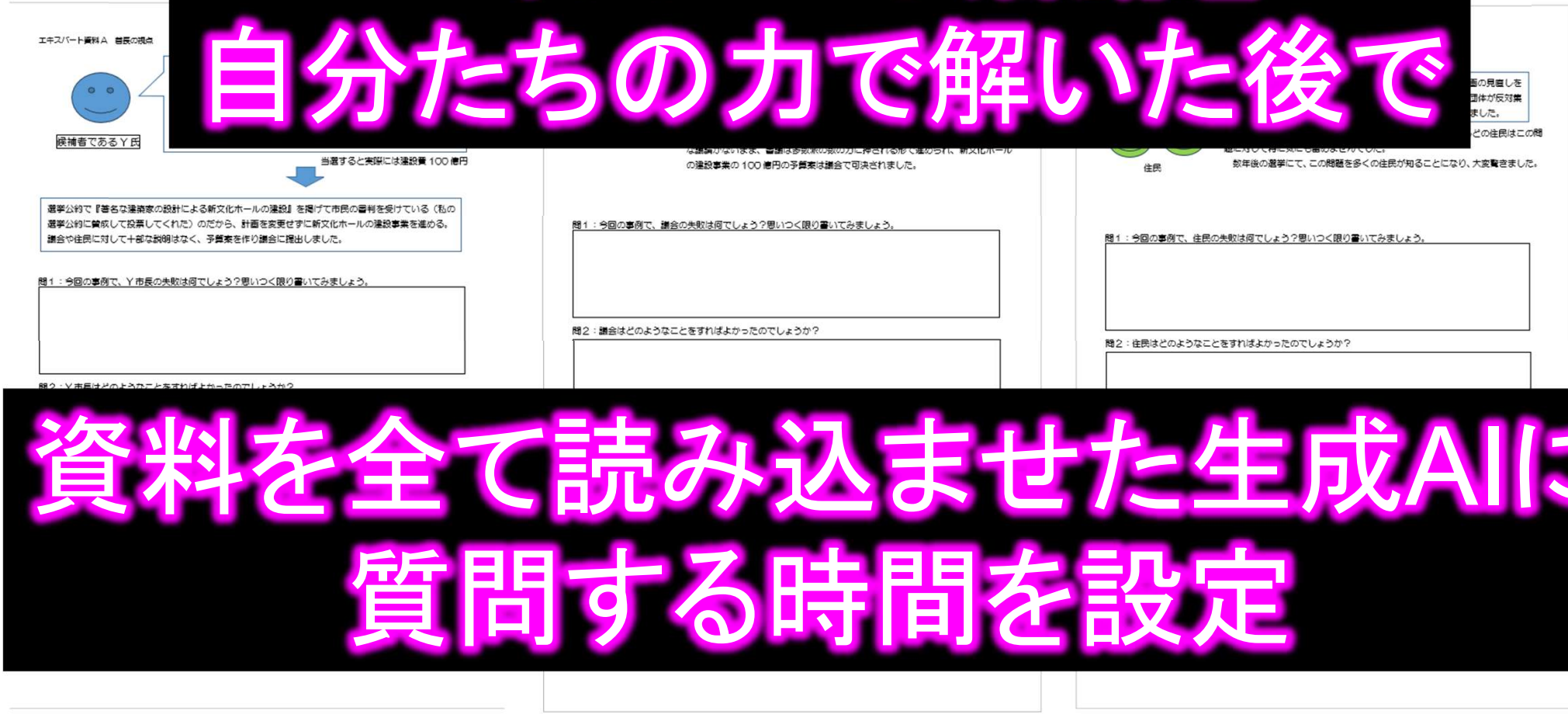
自分を高めるための情報源として探索的に使う
自分の知りたいことを何度も問う（多面的、多角的に）
自分の理解度に合わせたレベルに調整するように、何度も問う
自分の興味・関心に合わせて、例えさせるなど、何度も問う
⇒ AIからの情報を、教科書等と何度も照らし合わせて、深く理解しようとする

→似た重なりのある情報に繰り返し接することで深い学び（概念的な理解）に近づく

課題

よりよい町づくりのために、重要な役割を持つのは

エキスパート活動を
自分たちの力で解いた後で



資料を全て読み込ませた生成AIに
質問する時間を設定

エキスパート資料

エキスパート活動

生成**AI**活用

A：首長のエキスパート（資料**A**）

① 首長の立場理解

Q1：あなたは**X**市の市長（**Y**市長）です。
建設費が増額したとき、市長としてどんな葛藤があったか説明してください。
（市民への説明、公約、財政、議会との関係から）

② 首長の失敗

Q2：今回、市長として「見落としていた点」「失敗した点」は何ですか？
理由もつけて整理してください。

③ 改善策

Q3：計画をよりよく進めるために、市長としてどんな改善策が必要でしたか？
3つ挙げてください。

④ 首長の役割

Q4：地方自治において、市長（首長）が重要な理由を説明してください。

エキスパート活動

生成**AI**活用

B：議会のエキスパート（資料**B**）
① 議会の立場理解
Q1：あなたは**X**市議会の議員（多数派）です。
　なぜ十分な審議が行われなかったのか、その背景を説明してください。

② 議会の失敗
Q2：今回、議会としてどんな失敗がありましたか？
　多数派・少数派の両方の視点で整理してください。

③ 改善策
Q3：議会として、計画をよりよく進めるために必要だった行動を**3**つ挙げてください。

④ 議会の役割
Q4：地方議会が「住民の代表」として果たすべき役割を説明してください。

エキスパート活動

生成**AI**活用

C：住民のエキスパート（資料**C**）
① 住民の立場理解
Q1：あなたは**X**市の住民です。
　多くの住民が今回の問題に関心を持たなかった理由を説明してください。

② 住民の失敗
Q2：住民が見落としていた点、行動できなかった理由は何ですか？

③ 改善策
Q3：住民として、今回の計画に対してどんな行動ができたと思いますか？
　3つ挙げてください。

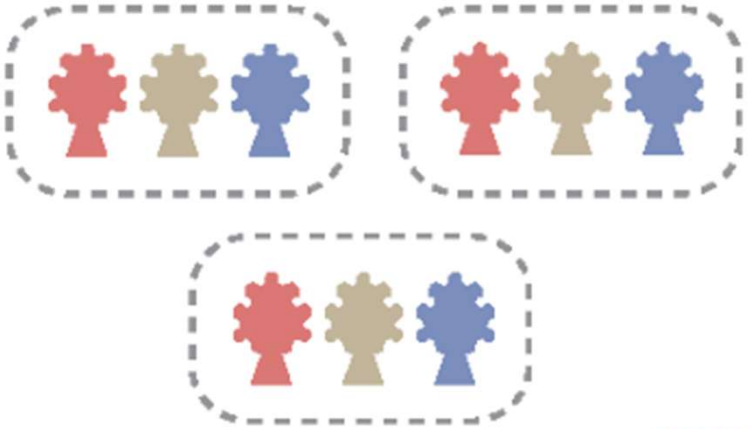
④ 住民の役割
Q4：地方自治において住民が重要な理由を説明してください。

ジグソー活動

（１）エキスパート活動をもとに失敗の原因について話し合おう

（２）（１）で話し合ったことやエキスパート資料問３をもとに本時の課題について考えよう

こちらがメインの課題



ジグソー活動

生成AI活用

1. 役割比較（首長・議会・住民）

Q1：首長・議会・住民の**3**者について、
　①大切にしている価値②今回の失敗③見落としている視点④メリットと弱点を整理し、比較してください。

2. 模擬討論（**3**者の対話）

Q2：新文化ホール計画について、首長・議会・住民の**3**者が討論するとしたら、
　①主張②対立点③合意できる点④解決案をまとめてください。

3. 統合的な結論づくり

Q3：よりよい町づくりのために、あなたは「首長・議会・住民」のどれが最も重要だと思いますか？
　次の**4**点を含めて書いてください：
　①理由②他の**2**者からの反論③その反論への再反論④**X**市の事例との関連

4. 転移（他の自治体でも起こる問題）

Q4：今回の**X**市の問題が他の地域でも起こりうるとしたら、
　財政・情報公開・住民参加の観点から**3**つ例を挙げて説明してください。

ジグソー活動

生成AI活用

1. 役割比較（首長・議会・住民）

Q1：首長・議会・住民の**3**者について、
　①大切にしている価値②今回の失敗③見落としている視点④メリットと弱点を整理し、比較してください。

2. 模擬討論（**3**者の対話）

Q2：新
　①主

3. 統合

Q3：よ
要だと思いますか？
　次の**4**点を含めて書いてください：
　①理由②他の**2**者からの反論③その反論への再反論④**X**市の事例との関連

4. 転移（他の自治体でも起こる問題）

Q4：今回の**X**市の問題が他の地域でも起こりうるとしたら、
　財政・情報公開・住民参加の観点から**3**つ例を挙げて説明してください。

ジグソー活動の途中でAIをアドバイザーとして聞く

授業を終えて…3名抽出してみると

児童生徒	授業前	授業後
1	首長 首長に議会の再議権もあるし、首長が知らせなかったら住民は知る由もないから	首長 私は最初から最後まで首長が重要だと思っていて、今回の事案は首長を止められなかったことが行けないところだと思った。議会は首長が暴走したら抑制しないといけないし、住民も社会参画をしなければならない。首長は計画的に行政を行い、地域の顔、代表者としてリーダーシップと責任を待たなければいけないと思った。大統領制と議院内閣制のハイブリットだと前に言っていたが、今回の事例は議院内閣制の議院から内閣（首長）への抑止力が働いていないと考えられる。 **→三者の監視・牽制、制度の構造まで踏まえた深い考察。三者のすべてが大事で、お互い監視し、協力して地方自治を進めていくことの重要性というねらいに到達している。**
2	首長 理由なし	首長・議会・住民の全て 首長には、町の方向性を決めて計画を実行に移す責任があり、首長の決断が住民の生活や町の未来に直結するため、首長が計画性のあるちゃんとした考えを持って責任を果たさなければ何もまとまらないから首長の役割が一番重要だと考えていた。ジグソー活動で議会・住民について聞く中で、議会にも首長の計画に対する適切な判断をする責任があり、住民も問題や計画に関心を持って、議会や首長に声を届ける必要があると考えたため、首長・議会・住民の全てに重要な役割があると思った。 **→首長→議会→住民へ理解を広げ、三者の必要性を明確化。協働性と三者の関係構造を深く理解している。**
3	住民 実際にその地域に住んで、良いところも改善すべきところも一番肌で感じているのは住民だと思うから。	首長 より良いまちづくりのために1番重要な役割を持つのは首長だと思いました。今回の事例で首長は誤った情報を住民に対して言ったというところが元凶で、それを知った住民が投票してY市長が選ばれたので、首長はトップとして詳細を明らかにして伝えるなどの責任を果たすという役割があると考えました。また、議会はその情報が誤っているとわかったあとも首長を支持し続けていて、首長と議会の大きい圧力によって住民の少数意見が反映されなかったことから、議会は首長を抑制する役割があると考えた。今回の事例では、一部の住民だけが運動を起こしていて、首長や議会に対して主張する力が小さかったことが失敗だった。このことから、より多くの住民が関心を持って情報を知っておく必要があり、社会参画をすべきだと考えた。 授業でかいたホワイトボードには、トップ（中心）である首長を真ん中にし、それを囲むように抑制する役割がある議会を配置した。また、住民は選挙で選ぶ役割があるので矢印を向けた。 **→事例に関して、少し読み違えている（表現の問題？）部分があるが、分析・監視・住民参加など期待要素をすべて網羅。三者協働の理解が表れている。**

※赤字は教員の分析

授業を終えて…全体の傾向

	首長	議会	住民	それ以外
プレ記述	6人	4人	12人	選択肢なし
ポスト記述	4人	0人	8人	7人（三者とも大事）

今回は、ジグソー活動からクロストークへ移るまでにどこのグループからも「どれも大事なんだけど…その中でも…」という前提で対話をする様子が見られた。

クロストークの様子からも、深い理解に到達した生徒が多かったと見取ることができる。

想定以上に生成AIが生徒の学びに大きく働いた

①エキスパート活動後の生成AI

全員が「この資料のことは説明できる。そして、課題に対する私なりの答えも明確に持っている。」

「私には伝えたいことがある。他の人の意見も聞いてみたい。」

②ジグソー活動での比較

考える主役は人間
学びのパートナーとして生成AIを

3人で話しても3人とも自分の意見を譲れずに決められない。

生成AIはどう答えるだろうか？

確かに、ちょっとアドバイスをもらおう

自分たちの意見を生成AIを使って客観的に見ようとする姿

順番が変わると…

最初から生成AIに頼る

→分かったつもりになる。（電卓のように使う）

→単元のまとめや定期テストなどで自分の考えをアウトプットする際に、書くことができないことに気付く

普段の授業でも…

★AIは 答えではなく、考えるための材料

★AIの意見は複数の資料（教科書など）と照らして吟味すること

→まずは教科書や資料を読み、自分の意見を持つこと

→その意見を他者（友達、生成AI）と吟味すること